

# 会

# 記

## I 日本白鳥の会研修会酒田大会要項

### ◎ 研 修 会

- |                      |               |         |   |
|----------------------|---------------|---------|---|
| と き                  | 昭和59年3月17日(土) |         |   |
| 1. 開 会               | 沼 本 芳 夫       |         |   |
| 2. 会長あいさつ            | 松 井 繁         |         |   |
| 3. 追 悼 次 第           |               |         |   |
| (1) 遺徳報告             | 木 島 信 市       |         |   |
|                      | 故 須 田 金太郎     | 殿       |   |
|                      | 故 佐 藤 尚 幸     | 殿       |   |
|                      | 故 阿 部 敏 雄     | 殿       |   |
| (2) 追悼のこゝば           | 日本白鳥の会会長      | 松 井 繁   |   |
| (3) 黙 悼              | 日本白鳥の会会長      | 松 井 繁   |   |
| 4. 表彰状贈呈             | 日 向 直 基       | 殿       |   |
| 5. 歓迎のこゝば            | 酒田市長          | 相 馬 大 作 | 殿 |
| 6. 来 賓 祝 辞           | 山形県環境保健部長     | 堀 越 一 彦 | 殿 |
|                      | 山形県野鳥愛護会会長    | 藤 井 俊 雄 | 殿 |
|                      | 酒田市商工会議所会頭    | 前 田 敏   | 殿 |
| 7. 研 修 会             |               |         |   |
| (1) 阿武隈川の標識について      |               | 上 竹 二 郎 |   |
| (2) 黄色、白鳥の行くえについて    |               | 堺 博     |   |
| (3) 阿武隈川の標識白鳥の行動について |               | 中 井 恒 雄 |   |
| (4) 白鳥とカモのナワバリあそいの要因 |               | 木 島 信 市 |   |
| 8. 閉 会               |               |         |   |

### ◎ 懇 談 会

- |         |            |         |   |
|---------|------------|---------|---|
| 開 会     |            | 金 野 耕 伍 |   |
| 祝 辞     | 庄内支庁総務福祉部長 | 石 井 太 郎 | 殿 |
|         | 酒田市議会議長    | 星 川 八 郎 | 殿 |
| 乾 杯     | 酒田市教育長     | 松 本 茂 雄 | 殿 |
| アトラクション | 酒田市白鳥を愛する会 | 会員有志    |   |

### ◎ 現 地 研 修

- |      |               |
|------|---------------|
| と き  | 昭和59年3月18日(日) |
| と ころ | 最上川白鳥飛来地      |

## II 第12回日本白鳥の会総会、結果報告

1. 日 時 昭和59年10月21日（日） 午前9時30分～午後2時
2. 場 所 東京都渋谷区「北海道東京第二事務所」
3. 出 席 者 松井会長以下14名

### 4. 議事次第

(1) 松井会長のあいさつ

(2) 議長選出、菊池昶史氏を選出

(3) 昭和58年度事業報告と決算について、原案どおり承認

(4) 昭和59年度予算案について、原案どおり承認

(5) 事業計画

- ソ連の科学者、コンドラチェフ氏が提案してきたコハクチョウの共同研究作業について、日本白鳥の会としてはこの共同研究に取り組むことを決めた。共同研究の詳細な対応については、学術担当の会員が原案を考えることにした。
- 来年度の総会は、6月に千葉県我孫子市に移転した山階鳥類研究所の見学を兼ねて開催する。
- 会報の発行は、総会にあわせて発行する。会報編集作業の円滑化をはかるため投稿規定を定めた。会報の投稿先を事務局にした。
- 会報以外に会員の声、白鳥の写真、定時定点調査の速報を掲載するニュースレターを発行する。これについても、投稿規定にしたがって事務局まで送付すること。
- 定時定点調査については毎月第2日曜日を主観察日とする。気象条件その他の理由で、当日観測不能な時は、その後1週間以内のものを報告し、その調査日を記入すること。
- 次期研修会は明年3月に茨城県古徳沼で開催することを決めた。

(6) 研究発表

- 猪苗代湖における白鳥の越冬状態について

大 森 常三郎 氏

- 伊豆沼の水質汚染と白鳥について

堺 博 氏